

# 第5章 重点的に取り組む戦略

## 1 感性価値を創造する「地域ブランド」の構築

### 〔目的〕

経済のグローバル化 や広域化がますます拡大する中、激しさを増す地域間競争を勝ち抜くため、地域の商品・サービスのブランド力を高めていくことが、これからの県内産業や地域経済の発展に欠かすことのできない戦略となっています。

滋賀県の地域の魅力を効果的にアピールしながら、県内の豊かな地域資源を活用し、組み合わせることで相乗効果を生み出すことにより、消費者の感性に訴える新たな付加価値を生み出し、地域ブランド力の強化につなげます。

### 〔主な取組〕

#### 地域資源の活用による新事業創出の促進

県内に数多く存在する産地の技術や農林水産物等、地域資源を活かし、県内各地域や県全体のイメージをリードする商品・サービスを生み出すような新たな事業展開を目指す地域中小企業等の創意工夫ある取組を促進します。

#### ブランド構築に向けた地域産品の開発・販路開拓等の推進

地域ブランドの構築を目指し、滋賀の特徴ある地域資源の有効活用を図るうえで、消費者の感性に訴える新たな価値を備えた商品・サービス、コンテンツが創出されるよう、消費者の視点に立った先端技術やデザインとの融合による商品の開発や販路開拓等に向けた取組を推進します。

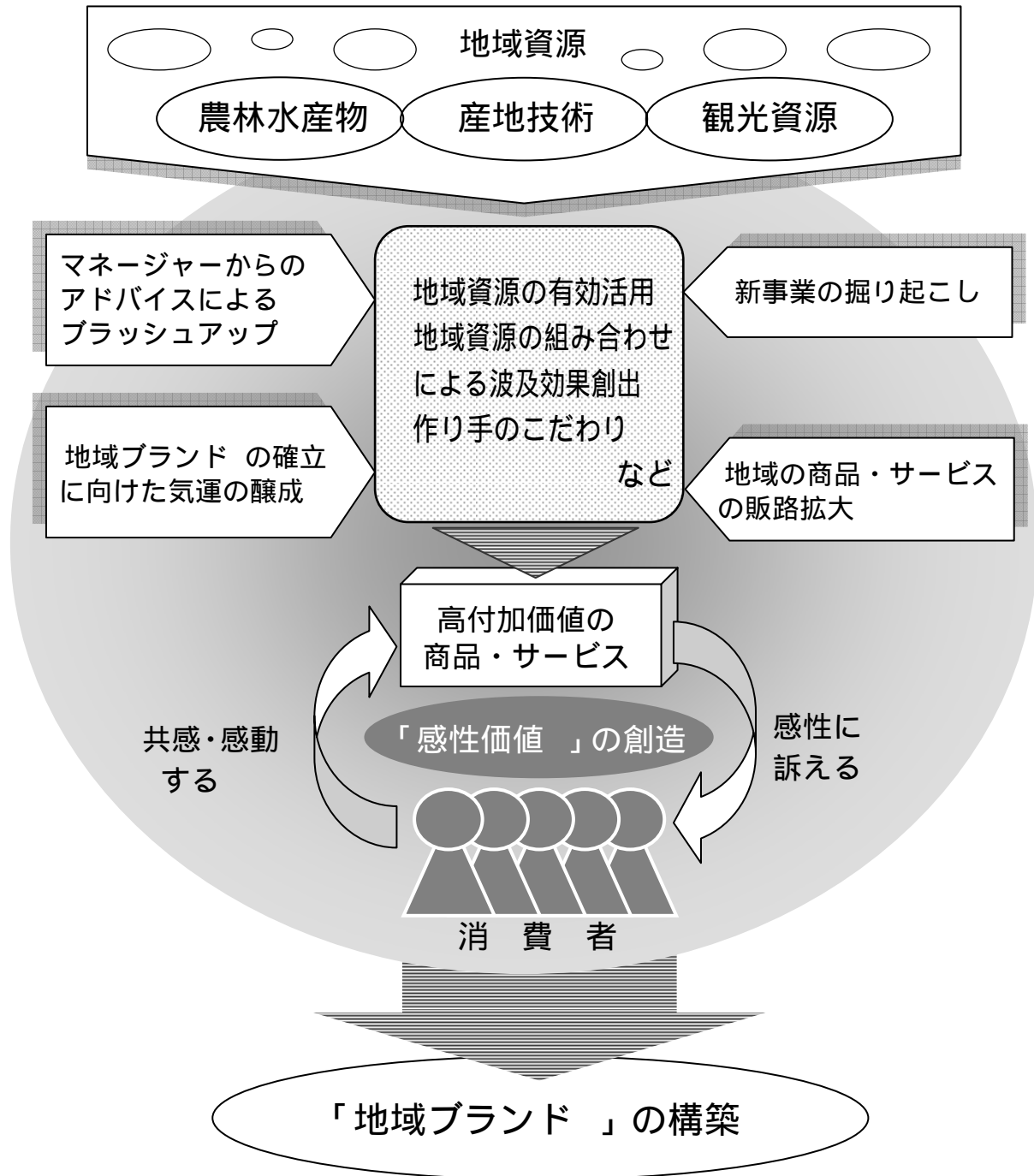
#### ブランド構築に向けた環境づくりの推進

ブランド構築への幅広い取組を促進するため、国の支援策等に関する情報提供やアドバイスをはじめ、活動を促進するための交流の場の提供や人材育成など、環境づくりを推進します。

#### ブランド定着化に向けた取組の促進

個々の商品やサービスのブランド力の向上が消費者の地域への理解やイメージアップに結びつくよう、様々な機会を通じて情報発信を行うことにより、ブランドの定着を図ります。

# 地域ブランド構築のイメージ



## 地域資源を活用した取組

- 地域資源を活用した事業計画を国より認定された事例 -

- ・「浜ちりめん」の織・撚糸・加工技術の産地技術を活用した、ウェディングドレス、パーティドレスの開発・販売。（長浜市）
- ・「彦根バルブ」の技術を活用し、業界初のカムレバーロック式水道用急速空気弁の開発・販売。（東近江市）

## 2 “滋賀”ならではの環境関連産業の振興

### 〔目的〕

地球温暖化をはじめとする環境問題が経済活動へ大きな制約となりかねない深刻な状況にある今日、産業と環境とが両立した新たな社会システムの構築によって、本県産業の持続的な発展を促していくことが求められています。

環境と経済発展との共存を目指し、環境に対する企業等の自主的な取組から生まれる活力や高いポテンシャル等の特性を活かした滋賀ならではの環境関連産業の振興を図ります。

### 〔主な取組〕

#### 環境産業クラスター の形成

本県で環境関連産業に取り組む産学官金によるネットワーク形成を図り、新技術や新製品の開発プロジェクトや技術評価、びわ湖環境ビジネスメッセ等を活用した販路開拓を推進します。

#### 地域COE の構築

本県が取り組んできた地域結集型共同研究事業の成果を活かし、関係研究機関の有機的連携による研究成果の蓄積、継承、高度化を通して、地域における新技術・新産業の創出に資するために、継続的かつ積極的な運用ができる科学技術基盤としての地域COE（Center of Excellence）の構築を目指します。

#### 商品化と販路開拓の促進

地元企業が持つ水質浄化技術や吸着技術などについて、国の競争的研究資金などを活用しながら産学官金、企業間の連携を促進し、商品化や販路開拓を推進します。



びわ湖環境ビジネスメッセ

#### セミナー・広報誌活用等による啓発の推進

企業戦略としての環境行動や、環境に配慮した県民の消費行動などについて、セミナーや広報誌などを活用した啓発を実施します。

#### リサイクル製品のコスト削減・品質向上に向けた研究開発支援

資源リサイクル産業における生産コスト削減と品質向上を図るため、公共事業での優先使用、研究開発を促進します。

#### 企業等との連携によるエコプロダクツ の技術開発の促進

エコプロダクツ の技術開発を促進するため、企業等が行う研究や大学、試験研究機関などと企業等との連携を促進します。

## 環境関連産業振興のイメージ

環境に対する企業等の自主的な取組から生まれる活力  
環境関連産業に関する高いポテンシャル

### 県内における環境関連産業の振興

環境産業クラスター の形成  
地域COE の構築  
県内企業の環境技術の商品化及び販路拡大の支援  
リサイクル製品の生産コスト削減や品質向上の支援  
エコプロダクツ の技術開発の促進 など

### 環境に関する意識の醸成

セミナー・広報誌などを  
活用した啓発の推進 など

滋賀県の特性を生かした環境関連産業の振興

### 滋賀エコ・エコノミープロジェクト

滋賀エコ・エコノミープロジェクトは、経済界と滋賀県の共同プロジェクトとして、滋賀から日本、世界に向けて発信できる「新しい発展モデル」の構築を目指す取り組みです。自然環境への負荷を低減しながら、県内への新たな雇用創出と事業活動における革新をもたらすための仕組みづくりと具体的なプロジェクトを推進し、持続的に発展できる健全で活発な経済社会を創造していこうとするものです。

## 3 「産学官金」連携による新産業創出基盤の強化

### 〔目的〕

製造業が大きなウェイトを占める本県産業が、将来にわたって発展を遂げていくためには、新たな産業創出のための基盤を強化していくことが重要です。

このため、地域の大学や企業の互いの強みを活かした連携による新技術の開発や新事業への展開を促進します。

また、地域の金融機関、NPO、市町等が連携し、中小企業が強く成長・発展していくための産業振興策を戦略的に展開することにより、本県産業の自律的かつ持続的な発展を促進し、次代を担う新産業の創出を図ります。

### 〔主な取組〕

#### 科学技術の振興と新技術シーズの創出

新しい滋賀の産業を創造するための原動力である科学技術の振興と新技術シーズの創出を図るため、大学の知的資源を活用した都市エリア産学官連携促進事業をはじめとする研究プロジェクトを推進し、地域の産学官金連携基盤の充実強化を図るとともに、研究成果の地域産業への技術移転を促進します。

#### 共同研究プロジェクトの推進

財団法人滋賀県産業支援プラザ等が中心となり、県内の産業界、大学、公設試験研究機関等の連携による事業化に向けた研究テーマの発掘、国等の大型研究開発プロジェクトの獲得に向けた事業計画の策定や共同研究体制づくりなど、中小企業の新技術開発や新事業への展開に向けた支援を強力的に推進します。

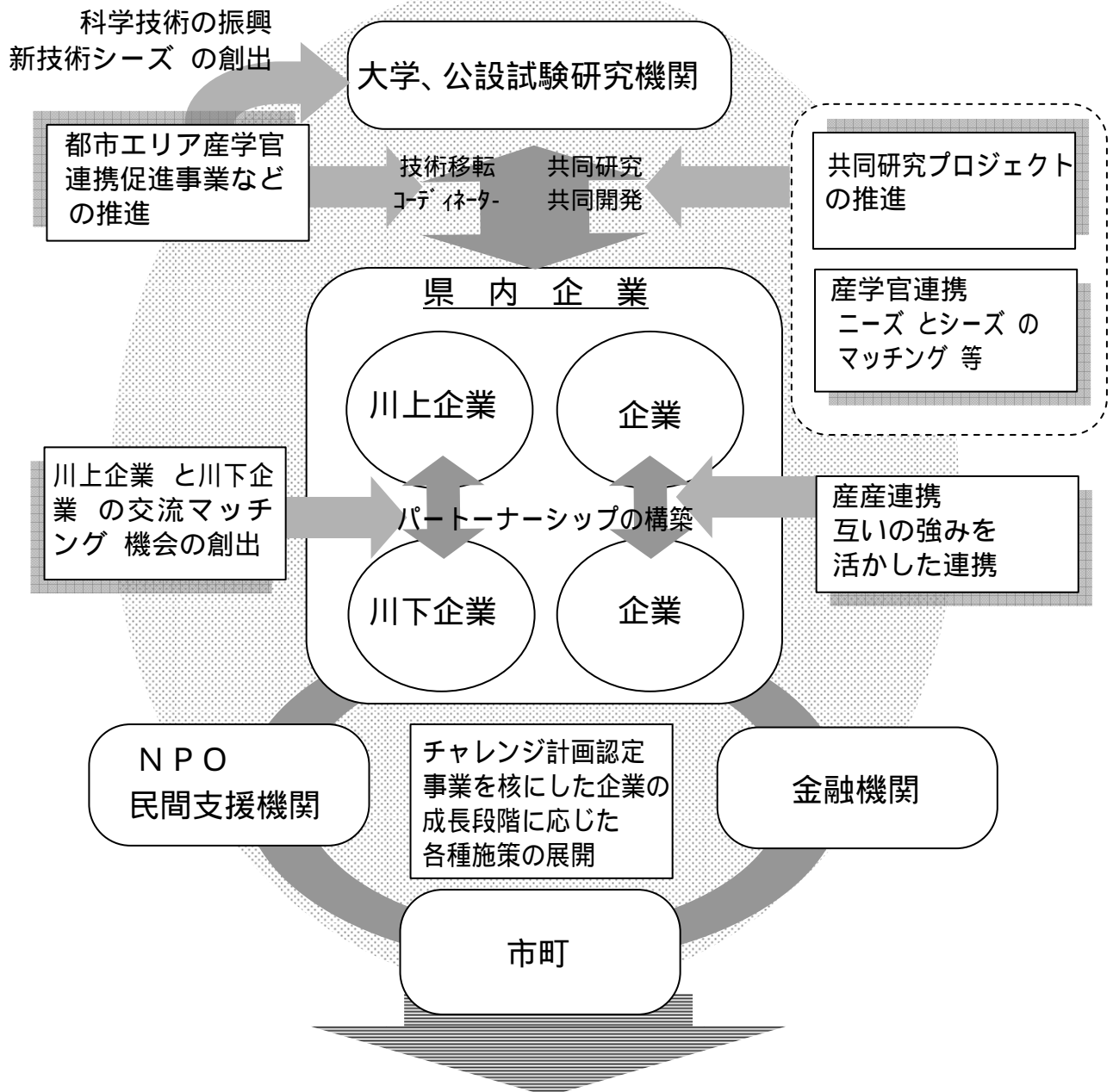
#### 地域ネットワークによる支援

豊富な経験と人脈を備える企業OBを擁するNPO、中小企業を資金面・経営面から支える金融機関、地域企業とのきめ細かなネットワークを有する市町等の緊密な連携により、優れた技術力と事業計画を有する中小企業を発掘し、チャレンジ計画認定事業を核に、企業の成長段階に応じた各種支援策を戦略的に展開します。

#### 川上企業と川下企業との交流・連携の促進

本県経済を牽引する製造業のモノづくり基盤技術を担う川上企業と、マーケットに近い最終製品製造の川下企業との交流やマッチング機会を創出し、川下企業が必要とする技術と川上企業の保有する技術の「すり合わせ」を行うことにより、高品質・高性能な先端製品の開発・生産力の強化を図るとともに、新たな取引やパートナーシップの構築を促進します。

# 新産業創出基盤強化のイメージ



## 「産学官金」連携による新産業創出基盤の強化

### 産学官金連携の取組

県内金融機関が主催をする環境分野に特化したビジネスマッチングや、大学と金融機関が連携したビジネス交流会の開催など、地域経済の活性化や地元企業の事業拡大を支援する取り組みが進められている。

## 4 「地」と「知」の利点を活かした戦略的な企業誘致の展開

### 〔目的〕

本県産業の持続的な発展と雇用の確保のためには、本社機能、研究開発機能を有する企業の積極的な誘致や県内に立地した企業の定着を図り、技術面や取引面で密接につながる企業群の集積を促進することが重要となっています。

このため、本県の優れた立地環境や既存の産業集積・地域資源を十分に活用し、地域の産業の核となる経済波及効果の大きい企業を中心に誘致を図るなど、戦略的かつ積極的に企業誘致を推進するとともに、企業立地環境の向上により県内に立地した企業の定着を図ります。

### 〔主な取組〕

#### 工場移転等に関する情報交換の実施

工場移転等に関する情報を入手し、県内工場用地をあっせんするため、商工団体や金融機関等との連携を強化し、情報交換を積極的に行います。

#### 立地手続の一元化の推進

立地手続の一元化の推進など、企業の進出意欲を高めるため、総合的な支援を図ります。

#### 企業誘致優遇制度の効果的な運用

研究所や研究開発機能を有する企業の立地を促進するための優遇制度の効果的な運用を図ります。

#### 滋賀県経済振興特別区域制度の有効活用

経済振興特別区域制度における助成金や税制、融資面等の優遇措置を有効に活用することにより、企業誘致を図ります。

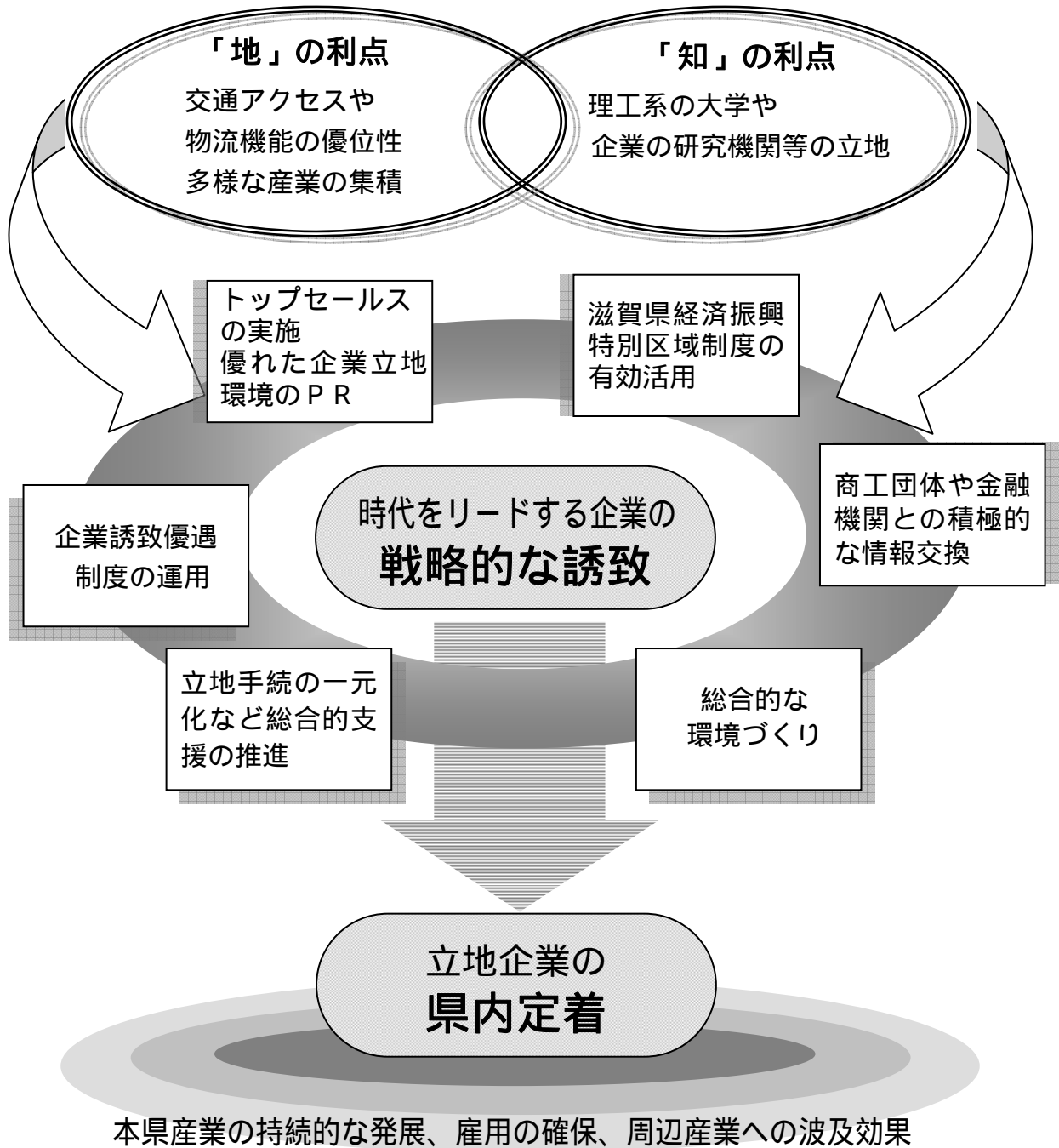
#### 企業誘致活動の推進

知事自らが先頭に立って本県の優れた企業立地環境のPR等を行うトップセールスの実施をはじめ、県内市町との密接な連携のもと、積極的な企業訪問活動を実施します。

#### 総合的な環境づくり

産業活動にとっては、産業用地や産業関連施設をはじめ、文化、教育、自然環境、健康福祉や交通インフラおよび都市基盤など生活関連の諸要素も重要であり、魅力ある滋賀を発信していくための総合的な環境づくりを推進します。

# 戦略的企業誘致のイメージ



日野第二工業団地



## 5 中心市街地の活性化による魅力あるまちづくりの推進

### 〔目的〕

将来にわたって持続的なまちづくりを目指すためには、居住人口の減少や大型店の郊外出店等に伴い、失われつつある中心市街地等のにぎわいと地域コミュニティ機能の再生が不可欠です。

このため、商店街をはじめ、地域住民や地域コミュニティが一体となって、商業、健康福祉、文化、観光など、総合的な視点から中心市街地の活性化に取り組み、滋賀の魅力あるまちづくりを市町との連携により推進します。

### 〔主な取組〕

#### 「挑戦する商店街」の自立的取組や空き店舗活用を促進

事業者の創意工夫によるサービス向上や滋賀の地域特性を活かした取組など、魅力の向上やにぎわい再生に向けた商店街の積極的な取組を促進します。

また、商店街の空き店舗情報の発信や新たなテナントの誘致、チャレンジショップの運営など、空き店舗を活用する取組を促進します。

#### 連携・協働によるにぎわいやサービス機能の創出を促進

中心市街地の活性化が周辺地域にも波及するよう、商業と地場産業や伝統産業、農林水産業、他のサービス産業との連携・協働を促進します。

特に、地域が抱える課題やニーズに対応した商品・サービスを提供するため、商店街の空き店舗活用等により、事業者やNPO、大学等による高齢者・子育て支援等のサービス提供、観光や環境に視点を置いた取組等、滋賀ならではのにぎわい創出につながる取組を促進します。

#### コミュニティ機能の再生およびまちの魅力発信を促進

地域住民や来訪者が商店街において交流の場として利用できるような機能の再生や、地域住民自らが、滋賀の特性ある歴史・文化、固有の産業、その他のまちの資源や個性に気づき、発掘し、それを有効活用することにより特産品を開発することなど、新たな魅力を創出し、地域住民はもとより来訪者にもまちの魅力を発信する取組を促進します。

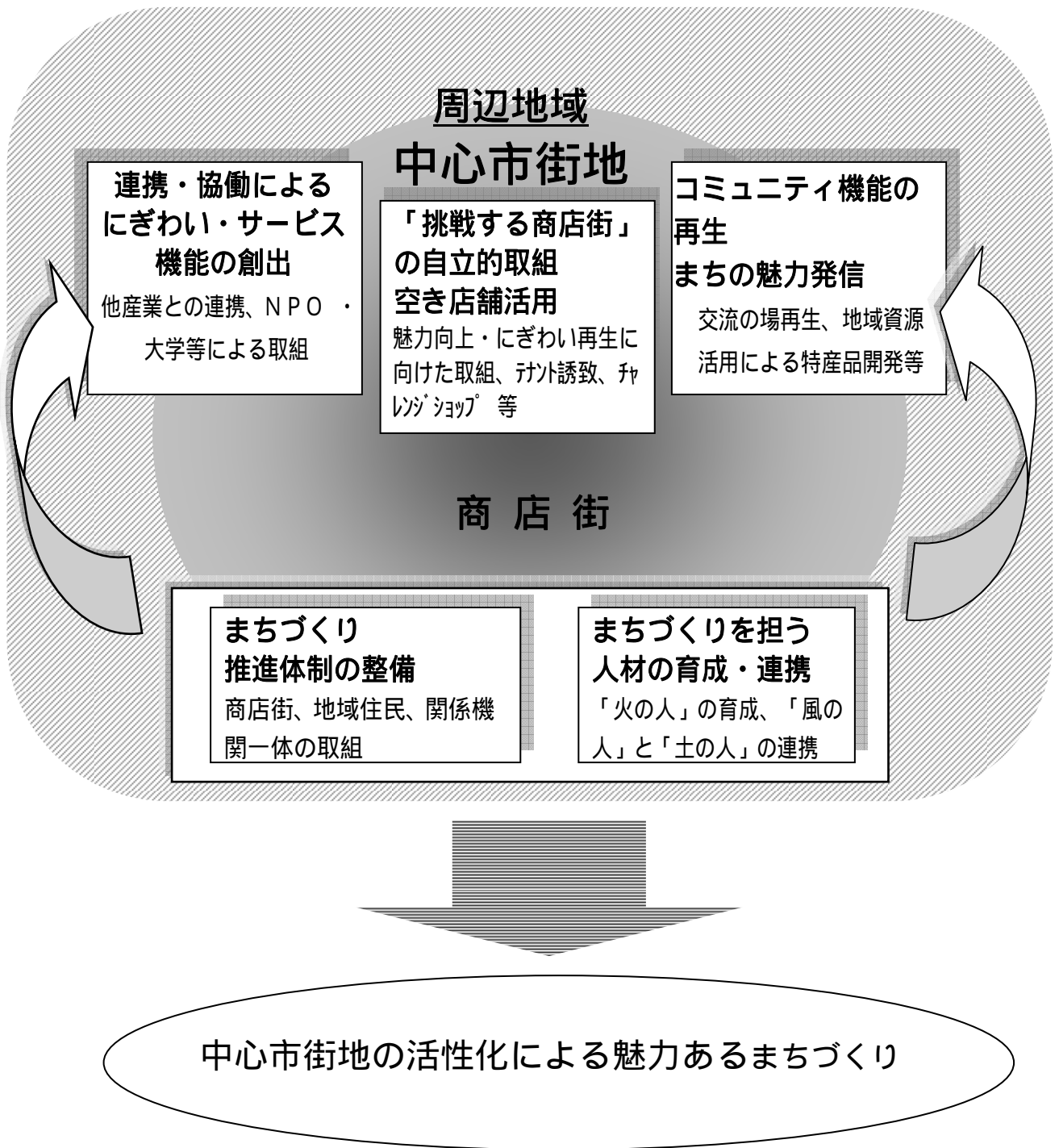
#### まちづくり推進体制の整備を促進

市町における中心市街地活性化協議会の設立や「中心市街地活性化基本計画」の策定など、商店街や地域住民、関係機関が一体となったまちづくりの取組を促進します。

#### まちづくりを担う人材の発掘・育成を促進

まちづくりの将来像を描き、そこに到達するための取組の中心となる役割を担う人材の発掘や育成を進めるため、次代を担うまちづくりリーダー(火の人)を育成し、外部からの新たな人材(風の人)と地元関係者(土の人)の連携を促進します。

# 中心市街地活性化のイメージ



滋賀が目指すべき中心市街地の姿 - 実践事例

花しょうぶ通り商店街（彦根市）  
市内3大学との文化イベントを合同開催。活性化拠点「寺子屋力石」、「戦国丸」において、戦国武将を活用した観光情報発信、学習塾・陶芸教室開催、映画上映等。

多賀門前町商店街（多賀町）  
門前町らしい「絵馬通り」としてファザード整備。多賀大社との一体化したイメージで各店の個性化、空き店舗活用による展示スペース・カフェ運営。地元大学との連携したまちづくり拠点開設。

## 6 滋賀の歴史や自然を活かした観光産業の振興

### 〔目的〕

観光産業は、21世紀のリーディング産業として期待されており、観光産業の発展は、来訪者を通して本県経済の拡大につながります。

このため、国内はもとより海外から本県への誘客を促進するため、来訪者の多様なニーズへの対応を図るとともに、地元市町や観光振興に関わる団体等とも連携し、琵琶湖をはじめとした本県の歴史や自然を活かした魅力あふれる観光地づくりを進め、本県観光の魅力を国内外へ継続的にアピールを図るなど、誘客宣伝に取り組みます。

### 〔主な取組〕

#### 個性あふれるニューツーリズムの推進

琵琶湖をはじめとする豊かな自然や歴史、文化など本県の地域特性を打ち出した新たな観光資源の創出を図るとともに、これらの観光資源を味わい、楽しむための、自然を活かしたエコツーリズムや農業体験等を行うグリーンツーリズム等を推進します。

#### おもてなしの心の醸成と充実

観光関係者と県民が一体となって本県への来訪者を温かく迎え、良質のサービスを提供することにより、来訪者が再び訪れたいくなるような観光地づくりを目指し、県民の受け入れ意識の高揚や観光地の美化等の取組を展開するとともに、研修会の開催や啓発活動等により、ホスピタリティの向上に努めます。

#### 観光付加価値の創出

県内の優れた「観光地」、「食」、「特産品」の中から逸品を選定し、付加価値向上を図るとともに、大都市圏等をPRのターゲットとした滋賀の魅力アップやイメージアップ戦略を図ることにより、観光客のリピーター化や新たな観光客の増加を図ります。

#### 団塊の世代をターゲットとした誘客の促進

これからの観光マーケットの中核を担うと期待される団塊の世代のニーズに対応した体験学習型の旅行商品の造成を図るとともに、新たな付加価値のあるツアーコースを設定し、広域観光ルートの充実を図ります。

#### コンベンションの誘致促進

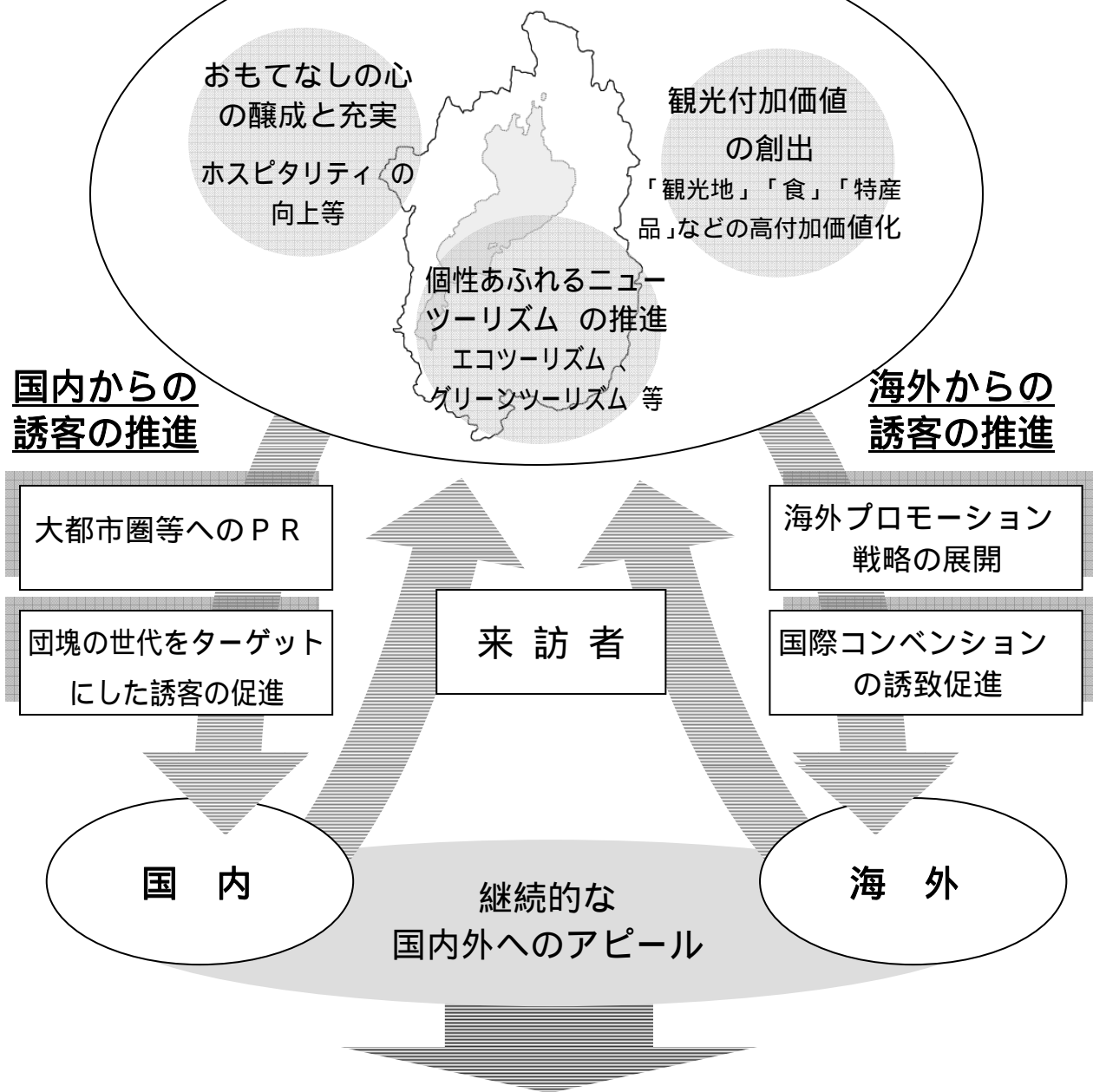
本県の水辺のロケーションは、国際会議や見本市などの集客交流にふさわしい舞台であり、こうした優れた環境を活かして、トップセールスなどを通じたコンベンション誘致を図ることにより観光誘客を促進します。

#### 海外プロモーション戦略の展開

ツアーの造成を図るため、海外エージェントおよびマスコミ関係者等を本県に招聘し、本県の魅力のPRを図るとともに、国の「ビジットジャパンキャンペーン事業」を活用した広域連携による海外プロモーションなどにより、海外からの観光誘客を図ります。

# 歴史や自然を活かした観光産業のイメージ

## 滋賀の特性を活かした魅力ある観光地づくり



## 滋賀の歴史や自然を活かした観光産業の振興

**魅力あふれる観光地づくり - 彦根市四番町スクエア**  
彦根市は、彦根城の一点観光から、城下町を含めた奥行き深い「まちなか観光」にふさわしいまちづくりを進めている。「彦根城」から「夢京橋キャッスルロード」そして「四番町スクエア」という、点から線、線から面といったまちづくりが評価され、第14回「観光地づくり賞金賞国土交通大臣賞」を受賞した。

## 7 「モノづくり立県」を支える人材の育成

### 〔目的〕

少子高齢化などにより生産年齢人口が減少する中で、若年者を中心としたモノづくり離れが進んでいます。製造業の占める割合が高い本県産業の持続的発展のためには、モノづくりの技術・技能の承継に加え、企業活動の担い手である産業人材の育成、とりわけ、今後の滋養を支えていく若年者の人材育成の重要性が高まっています。

このため、若年者の育成に向け、技術・技能の向上を支援するとともに、個人の適性にあったキャリア形成 や職業能力開発を実施するなど「モノづくり立県」を支える産業人材の育成を図ります。

### 〔主な取組〕

経済界と教育界が連携した工業高校における実践的な人材育成プログラムの充実

機械、電気、電子、化学等の分野で企業ニーズ に即した実践教育を導入し、企業と工業高校の双方が抱える課題を解決し、地域に根ざし、地域に生きる「モノづくり人材」を恒常的に育成・供給する新たな仕組みづくりを目指します。

若年技能者の顕彰

若年者の技能離れの防止や熟練技能の次世代への継承、モノづくり人材の育成を図るため優秀な若年技能者を「おうみ若者マイスター」として認定し、県主催のイベントなど技能振興活動を行うことで、若年技能者の技能研さんへの意欲の向上と社会全般に技能を尊重する気運の醸成を図ります。

県内の大学生の人材確保への取組

県内の企業が県内の大学から輩出された人材を十分に活用することができるようにするため、企業自身が魅力をPRするとともに、企業と教育機関が相互理解を促進するための環境づくりを図ります。

モノづくり中小企業の明日を担う人材の育成

モノづくり中小企業の競争力の強化と持続的な成長・発展を促進するために、中核的支援機関等が中心となり、技術者を対象とした技術研修や試験分析講習会等を開催するとともに、地域の大学や産業界と連携し、モノづくり中小企業の明日を担う人材の経営・管理能力の向上と後継者の育成を図ります。

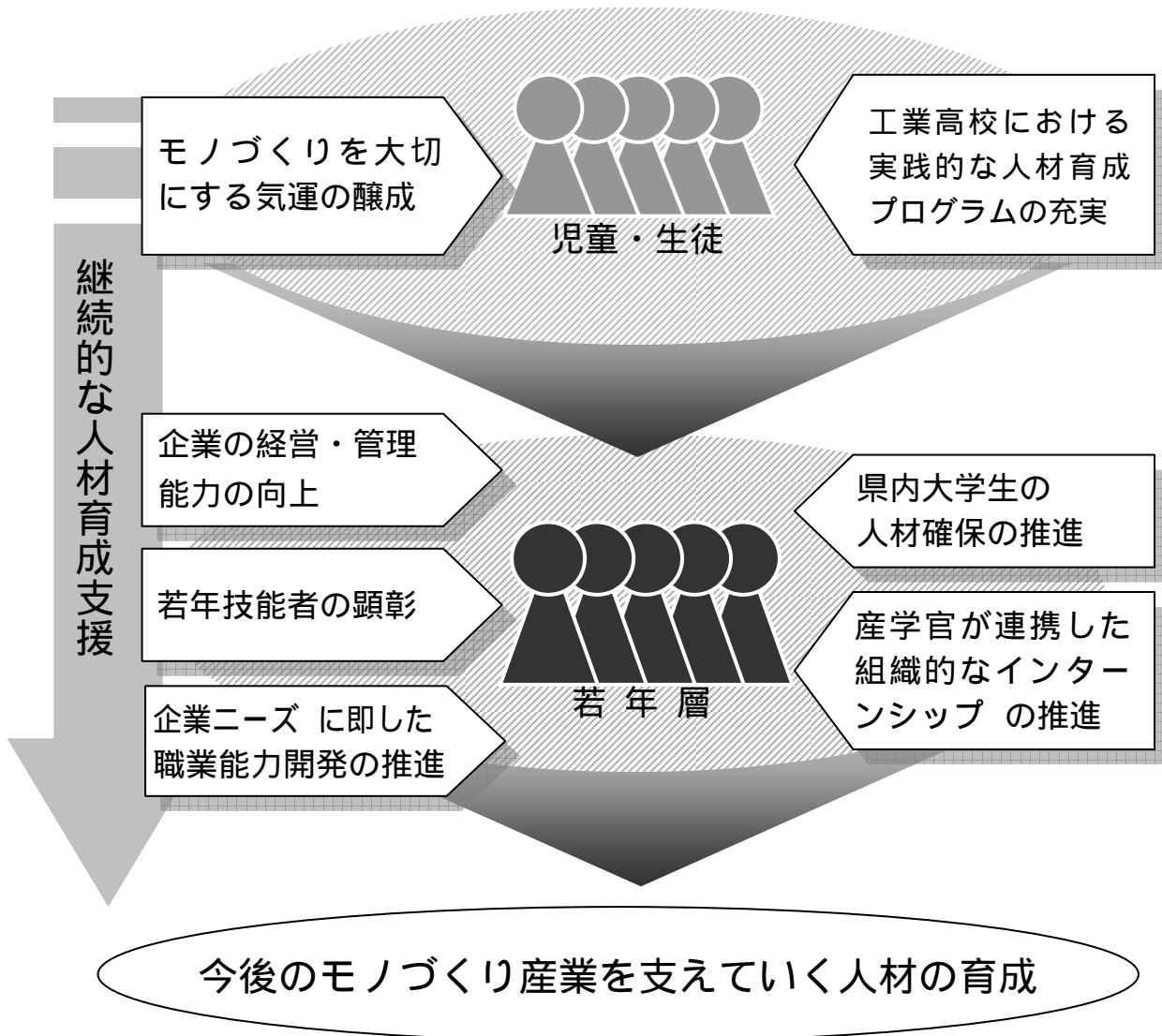
実践型人材養成システム の推進

現場の戦力となる人材の育成を図るため、企業が主体となって実施する職業訓練と企業実習を組み合わせた雇用に直接結びつく実践型人材養成システム の普及を図ります。

モノづくりを大切にする気運の醸成

小中学生を対象にモノづくりや技能に触れる機会を提供することにより、職業意識の形成と技能が尊重される気運の醸成を図ります。

# モノづくり人材育成のイメージ



ものづくりフェア - ものづくり教室



旋盤作業実習